

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2002-249990(P2002-249990A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-44845(P2001-44845)

【国際特許分類】

D 0 6 P	3/00	(2006.01)
D 0 1 F	6/94	(2006.01)
D 0 2 G	3/02	(2006.01)
D 0 6 B	1/00	(2006.01)
D 0 6 M	13/224	(2006.01)
D 0 6 P	1/16	(2006.01)
D 0 6 P	1/613	(2006.01)
D 0 6 P	1/651	(2006.01)
D 0 3 D	15/00	(2006.01)
D 0 6 M	101/30	(2006.01)

【F I】

D 0 6 P	3/00	P
D 0 1 F	6/94	Z
D 0 2 G	3/02	
D 0 6 B	1/00	
D 0 6 M	13/224	
D 0 6 P	1/16	A
D 0 6 P	1/613	
D 0 6 P	1/651	
D 0 3 D	15/00	A
D 0 6 M	101:30	

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月15日(2008.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 L値が80以下であることを特徴とする着色ポリフェニレンサルファイド部材。

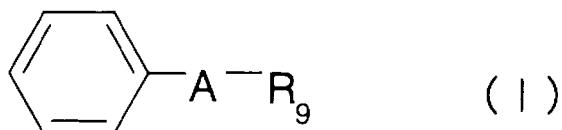
【請求項2】 前記L値が70以下であることを特徴とする請求項1記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【請求項3】 前記L値が50以下であることを特徴とする請求項1記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【請求項4】 前記ポリフェニレンサルファイド部材が、繊維であることを特徴とする請求項1記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

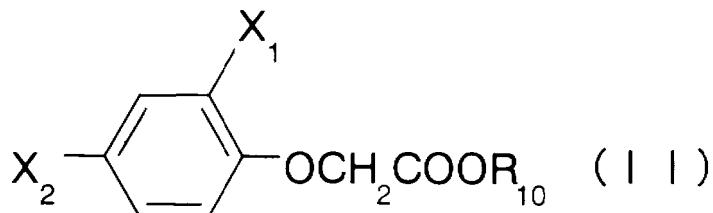
【請求項5】 前記ポリフェニレンサルファイド部材が、以下の一般式(I)で表される化合物および以下の一般式(II)で表される化合物から選択される少なくとも1種の化合物と、乳化剤とからなるカバリング剤を含有することを特徴とする請求項1記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【化1】



(ここで、Aは、-O-または-C(=O)O-であり、R₉はフェニル基またはその誘導体の基、あるいは置換または未置換のフェニルアルキレン基である)

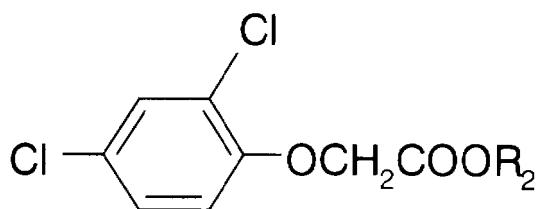
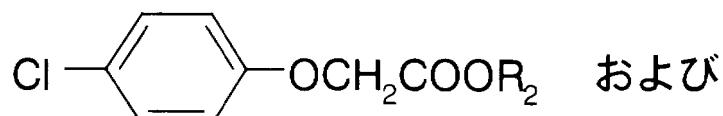
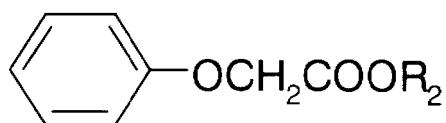
【化2】



(ここで、R₁₀は、1個～5個の炭素原子を有する脂肪族炭化水素基であり、そしてX₁およびX₂は、それぞれ独立して水素原子またはハロゲン原子である)

【請求項6】 前記カバリング剤が、安息香酸フェニルおよびその誘導体、ベンジルベンゾエートおよびその誘導体、ジフェニルエーテル、フェニルベンジルエーテルおよびその誘導体、ならびに下記一般式で表される化合物から選ばれた少なくとも一種の化合物と、乳化剤とからなる乳化物であることを特徴とする請求項5記載のポリフェニレンサルファイド部材。

【化3】



(ここで、R₂は、1個～5個の炭素原子を有する脂肪族炭化水素基である)